

Grandeur Global Academy 沼津校 自己点検・自己評価シート

2024年3月25日実施

* 本シートは、日本語教育機関の告示基準の規定に基づき、当校にて定める自己点検・自己評価計画に則り作成されたものである
 * 自己点検完了後にWebサイトに掲載すること

○ 十分に取組んでいる（アンケート：90%以上）
 △ 取組んでいるが不十分
 × 全く取組めていない（アンケート：50%以下）

No.	評価内容 (実施日)	前回結果	今回結果	備考・改善計画
		9月25日	3月25日	
1	理念・目標			
	① 理念・教育目標・育成人材像は学則に明確に定められているか	○	○	
	② 理念・教育目標・育成人材像は教職員、学生に周知されているか	△	△	教員だけでなく、学生にも2024年度から周知していく。
	③ 理念・教育目標は、社会的に意義があるか。	○	○	
2	学校運営			
	1) 運営方針・自己点検			
	① 理念・教育目標・育成人材像を踏まえた特色ある学校運営をめざしているか	○	○	ICT活用の指標に沿って取り組んでいる。
	② 事業計画に沿った運営方針が策定され、教職員に周知されているか	○	○	全体会議を年2回実施して、方針を伝えている。
	③ 日本語教育機関の告示基準を満たしているか	○	○	適正校（クラス1）である。特に問題がないので、次回通知で適正校クラス1の可能性。
	2) 組織・体制			
	① 設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の告示基準」で定められた要件に適合しており、職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	○	○	
	② 校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の告示基準」で定める要件に適合しており、職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	○	○	
	③ 生活指導担当者及び事務職員は、「日本語教育機関の告示基準」で定める要件に適合しており、職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	○	○	
	④ 運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか	○	○	月例会で方針共有。職員の行動スキル評価面談で確認。
	⑤ 入国管理局によって認められた申請取次者が配置され、職員・学生に周知されているか	○	○	教職員のうち3名が申請取次者証明書を所持している
	⑥ 情報システム化等により、業務の効率化が図られているか	○	○	学生管理システム、情報共有ツールを使用し効率的に情報共有している。
	⑦ 災害時の危機管理体制が整備され、職員・学生に周知されているか	○	○	新入生入学時指導、および全校訓練で避難地誘導、防災指導を実施。
	⑧ コンプライアンス担当者がおり、教職員に周知されているか。	○	○	選任済みであり、入社時の個人情報の取扱い通知等で周知している
	3) 労務管理			
	① 就業規則が明確に定められ、職員に周知されているか	○	○	共有し閲覧できるようになっている。
	② 就業規則に基づいた労務管理がなされているか	○	○	
	4) 学校情報の公開			
	① 学校のホームページ上に、学校情報及び自己点検・自己評価の結果を公表しているか	○	○	毎回、自己点検・自己評価、および入管報告をホームページにて公開中
	② ホームページ上に公開している情報は個人情報保護への配慮などにおいて、法令上または社会通念上、適正な表現になっているか	○	○	プライバシーポリシーについてホームページに公開中
	③ ホームページ上には募集対象国、現地の教育機関などに対し、適正な学校情報が提供されているか	○	○	翻訳機能を搭載済み。書類ダウンロードについては最新版を掲載。
	④ ホームページには、外部の意見を聞くための配慮がなされているか	○	○	
	⑤ 公開している情報が、常に最新のものであるよう留意しているか	△	△	ブログの定期更新は実施中。その他の情報更新にも努めたい。
3	教育活動			
	1) 教職員			
	① 教職員の評価が行われているか	○	○	行動スキル評価を実施している。

	②	学校運営と将来構想に適合した教職員の確保と育成を行っているか	○	○	認定校制度をふまえ、全教員が日本語教育能力検定試験を受験。
	③	教職員の能力開発のために、内部研修実施や外部研修参加支援対策を積極的に行っているか	△	△	まだ不十分ではあるが、全体研修、スキルチェックのしくみを整えつつある。
	④	教職員の進学・研究・発表活動や資格取得を支援する体制があるか	△	△	資格取得を奨励しているが、休暇や補助金支給はない。
	⑤	教職員が学校の理念・目標について共通認識をもつ取り組みが行われているか	○	○	行動スキル評価・全体会議で共有。
	⑥	教職員がそれぞれの目標を達成するための体制が整備されているか	○	○	人事評価制度に、各自のチャレンジ目標有。
2)		カリキュラム・クラス編成			
	①	カリキュラムは教育目標達成のために体系的に編成され、その意図が教員間で共有されているか	○	○	開講当初から目指していた方向で授業改善にとりくんでいる。
	②	カリキュラムの運用について検討・改善が行われる体制があるか	○	○	認定校制度をふまえ、見直しをすすめている。
	③	クラス編成は学生の能力を測ったうえで適切に行っているか	○	○	定期試験を実施し、確認している。
3)		クラス運営			
	①	クラス担任は、クラスの学生に学習目標や試験に関する事など、必要な情報を伝えているか	○	○	ICTツールを活用し、常に最新の情報が学生に届くよう配信している
	②	クラス担任は、学生の目標、学習状況、生活情報などを把握しているか	○	○	ひごろのやりとりや、定期的な面談を行って把握し、指導している。
	③	クラス担任は、クラスの学生の出席状況、在留資格更新状況を把握しているか	○	○	
4)		教材			
	①	適切な教材やICT機器が備えられ、教員はそれらを利用できるスキルをもっているか	○	○	ICTツールとしてiPadを活用。
	②	積極的に教材開発に取り組み、教員間で共有しているか	○	○	専任教員を中心とした教材開発を進め、教員間で共有している
	③	教材使用の際、著作権に十分留意し、必要があれば出典を明らかにしているか	△	△	留意している、出展が明示されないことがある。
5)		授業			
	①	教員の授業評価を実施しているか	△	○	スキルチェックを導入。
	②	授業の質を一定に保つとくみが行われているか	○	○	認定校制度・参照枠の考え方を意識して改善をすすめている。
	③	授業は学習計画にそって進められているか	○	○	概ね計画通り。教員間での意識統一をはかり、より計画的に授業を実施していきたい。
	④	学生の学習進捗状況を教員間で共有できているか	○	○	Slackにて日々記録を共有している。
	⑤	学生の学習進捗にあった指導体制ができているか	○	○	
	⑥	授業の方法について、教員間で共通の認識をもつ取り組みを行っているか	○	○	細部ではまだ改善が必要だが、共有できている。
	⑦	日本語能力試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	○	○	目標を立て、模擬試験とMonoxer、定期試験の結果分析を行っている。
	⑧	日本留学試験の日本語科目の指導体制は確立しているか	○	○	希望者を対象として実施してきた。2023年10月期生から授業内でも扱う。
	⑨	進学に必要な日本語以外の科目を指導する体制が確立しているか	△	△	対象者がいなかったが、個別対応可能。
6)		評価			
	①	計画的に形成的評価、達成度評価を行い、結果を指導の改善に生かしているか	○	○	評価結果に基づき学生との個人面談を実施している
	②	学生は、学期ごとの学習目標を達成できているか	○	○	試験と評価、再試験の在り方を見直し、目標達成できるように努めている。
	③	学生の成績評価規程が明確に示され、適正に評価を行っているか	○	○	
	④	個々の学生の試験結果データが蓄積・分析され、指導にいかされているか	○	○	分析にとりくむ体制ができた。
	⑤	成績評価を学生に伝えているか	○	○	
	⑥	試験結果以外による評価方法があり、それを実施しているか	×	△	参照枠をふまえた評価をとりいれつつある。
7)		進路指導・キャリア指導			
	①	教職員全体として、組織的に学生に十分な進路情報を提供し、キャリア教育に取り組んでいるか	○	○	全員進学・就職
	②	学生が進路について相談できる体制が確立しているか。	○	○	
	③	進路指導担当者が特定され、学生に周知されているか	○	○	

	④	進学先や地域との連携、協力体制を築くように努めているか	○	○	誠恵高校での日本語指導、進学先との情報交換を行っている。
	⑤	学生がキャリアデザインを描ける体験企画や行事を実施しているか	×	×	実施できず。今後計画したい。
	⑥	学生卒業後のフォローやネットワークづくりができていますか	○	○	SNSで卒業生の情報を入手。証明書の発行依頼などに対応。
4		学習成果			
	①	日本語能力試験、日本留学試験等の結果を把握し、公表しているか	△	△	Webサイトに掲載していきたい。外部調査による公表は行っている。
	②	日本語能力試験合格率は目標に達しているか	△	△	やや改善の兆しがみられるが、まだまだ不十分なので、12月試験に向けて力を入れたい。
	③	進学率は目標に達しているか	○	○	2024年3月卒業生について、進学希望者の進学率100%
	④	卒業認定が、基準にしたがって適切に行われているか	○	○	
	⑤	卒業生の進路を把握し、公表しているか	○	○	学校概要に、主な進学先を公開。
5		学生指導・支援			
	1)	指導体制			
	①	学校教職員全体で学生指導に取り組む体制が確立しているか	○	○	
	②	指導の方針が、教職員間で共有されているか	○	○	方針を話し合いながら共有し、指導を行っている。
	③	教職員が学生指導について理解し、知識を深める機会が設けられているか	△	△	全員ではなかったが、学生一斉オリエンテーション時に非常勤教員にもに参加してもらった。
	2)	在籍管理・アルバイト指導			
	①	出入国在留管理庁が定める入国・在留関係の法令遵守指導を行っているか	○	○	毎月1回以上、学生向けの説明・指導時間を確保している
	②	学生の在留資格およびその期間更新時期等に関する情報管理を適切に行いながら指導しているか	○	○	
	③	学生の出席状況の管理とその指導体制が確立されているか	○	○	
	④	在留資格「留学」のできるアルバイトについて、適切な指導を行っているか	○	○	毎月1回以上、学生向けの説明・指導時間を確保している
	⑤	学生のアルバイト状況を把握し、問題に対処できているか	○	○	毎週1回、アルバイト状況確認を実施
	⑥	学生の問題行動に適切に対処し、指導記録を残すとともに情報管理しているか	○	○	
	⑦	学生情報は、常に最新のものに更新するように努めているか	○	○	
	⑧	関係省庁への定期報告は、遅延なく行われているか	○	○	
	3)	健康管理			
	①	学生全員が国民健康保険に加入しているか	○	○	
	②	年1回定期的に学生の健康診断を実施しているか	○	○	
	③	感染症発生時の措置を定めているか	○	○	地域医療機関の連絡先リスト化、学校への緊急連絡方法を指導徹底
	④	近隣の医療機関やカウンセラーなどの専門家と連携しているか	△	△	周辺医療機関に周知済み。専門家とは連携できていない。
	⑤	学生に対し、日常的な健康観察を行っているか	○	○	常備薬、体温計等を完備（2020年4月以降、登校時に全員必ず検温を実施）
	⑥	学生の健康相談（心のケアを含む）体制が確立しているか	○	○	クラス担任が窓口となり、相談内容に応じて対応者を決定する
	4)	生活指導			
	①	日本国の法令を遵守させる指導を行っているか	○	○	入国後および毎月1回以上、学生向けの説明・指導時間を確保している
	②	学生が日本の文化・習慣について理解するための指導やアドバイスが適宜行われているか	○	○	
	③	学生の生活相談に関する体制が整備され、機能しているか	○	○	
	④	教職員が生活指導についての知識を深める機会が設けられているか	○	○	職員会議にて毎週確認。
	5)	安全・危機管理			
	①	災害・事故対応の危機管理マニュアル作成や教職員・学生の連絡網整備ができていますか	○	○	改善済。
	②	学校で防災訓練や避難訓練、交通安全指導を定期的実施しているか	○	○	学校内で実施、避難地案内、警察などの指導を実施。

	③	学生が居住する地域の防災訓練への参加を促しているか	○	○	町内会の訓練に参加。
	④	緊急避難経路等が学生や職員に周知され、危険物・障害物がない状態か	○	○	
	⑤	防災用品が備蓄されているか	△	△	町内会の備蓄はある。学校にはない。学生には指導。
	⑥	災害に備え、地域の関係機関、団体と連携しているか	△	△	近隣町内会のみ。その他の地域連携はできていない。
	⑦	校内安全点検や、防犯教育等教職員・学生の安全対応能力向上の取り組みを、定期的に行っている	○	○	入学時に警察署・消防署・市役所と連携した防犯教育。
	⑧	緊急時、学生の母国と連絡がとれる体制が確立しているか	○	○	
6)		学生支援			
	①	授業以外に体験活動や行事などが企画され、学生が学校生活や日本社会に馴染めるような工夫をしているか	△	○	Gフェス、スピーチコンテスト、学習発表会、地域のイベントへの参加等、活動が広がってきている。次年度はより各方面との連携を深めていきたい。
	②	住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援体制が整っているか	○	○	
	③	学校は、学生が生活相談しやすい体制を整えているか	○	○	
	④	学生の母語による相談に対応できる体制を整えているか	○	○	
	⑤	学生が個性や長所を伸ばし、力を発揮できるようにするための工夫はあるか	○	○	行事・イベントで活躍の場をつくっている。授業内の活動でも取り組んでいきたい。
	⑥	学生の、学校に対する満足度を把握する取り組みは行っているか	○	○	
	⑦	緊急時に24時間通じる学校の連絡先を学生に周知してあるか	○	○	
	⑧	学生の保護者への情報提供ができていないか	△	△	一部、問題があった場合に必要に応じて提供。全体には行っていない。
6		教育環境			
	①	施設・設備は「日本語教育機関の告示基準」で定める要件に適合するよう意識して整備されている	○	○	
	②	施設・設備は不具合なく安全で、常に清潔に保たれているか	△	△	破損等によりやや修理が必要な箇所がある。
	③	教室の照度・換気は十分に確保されているか	○	○	
	④	教室の遮音性は十分か	○	○	
	⑤	教育に必要な視聴覚機器・IT機器が備えられているか	○	○	
	⑥	図書は十分に備えられているか	○	○	
	⑦	保健室が備えられているか	○	○	
7		入学者の募集と受け入れ			
	①	学生の受け入れ方針が理念・目標に適合するように定められ、学校案内・募集要項に記載されているか	△	△	ホームページにて公表開始、募集要項への記載を進める
	②	定員・在籍者数の設定は適正か	○	○	
	③	納付金の設定が適正であり、その内訳と金額が募集要項に明示されているか	○	○	
	④	授業料以外に必要な納付金が募集要項に明示されているか	○	○	
	⑤	関係法令に基づいた授業料の返還規定が定められ、学則等に明示されているか	○	○	
	⑥	学生募集活動は、適正かつ計画的に行われているか	○	○	
	⑦	学生募集活動において、学修成果は正確に伝えられているか	△	△	Webに一部を掲載。概要資料は作成済。募集ツールとして活用したい
	⑧	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づいて行われているか	○	○	基準を決め、実施している。入管の検査でも問題なし。
8		財務			
	①	学校の財務基盤は中長期的に安定しているか	○	○	
	②	予算及び収支計画は有効で妥当なものとなっているか	○	○	
	③	財務について、会計監査が適切に行われているか	○	○	

	④	財務情報の公開体制は整備されているか	△	△	公開検討中。
	⑤	経理規程が整備されているか	○	○	
9		法令順守			
	①	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等を遵守しているか	○	○	
	②	日本語教育機関が順守すべき法令に沿った運営方針となっているか	○	○	
	③	個人情報保護のための対策がとられているか	○	○	
	④	学校運営の自己点検・自己評価・第三者評価を行い、その結果を公表しているか	△	△	第三者評価 検討
	⑤	自己点検・自己評価、第三者評価の結果に基づいた改善がなされているか	△	△	第三者評価 検討
10		地域貢献・社会貢献			
	①	学校として、学生の地域イベント・ボランティア活動参加を促し、国際交流を支援することで、学生が地域の一員としての自覚をもてるよう指導しているか	○	○	地域防災訓練に参加。
	②	地域の自然や文化財、伝統行事、図書館、博物館、地域の人々などを、教育資源として活用しているか	○	○	日本文化体験、Gフェスでは、まちの識者にご協力いただいた。 また、三田国際学園との交流では、商店街を中心としたまち歩きを行った。
	③	地域企業との交流を行い、学生のキャリアデザイン指導に生かしているか	△	△	授業での活動は行っているが、キャリアデザインにかかすことはできていない。
	④	地域住民との交流により、日本人側の異文化コミュニケーションスキルを向上させることに貢献できているか	○	○	日本文化体験、Gフェス、防災訓練参加で、地域との関わりを深めてきている。
	⑤	学校運営に地域住民の意見を反映し、その検討結果を公表するしくみがあるか	×	×	検討中
	⑥	地域に情報発信し、担える役割をアピールしているか	○	○	Webサイトで日本語教育機関としての役割を示す。県や市等の職員にできることをアピール。
	⑦	地域に向けた公開講座などを実施しているか	△	△	Gフェス、学習発表会で地域に向けた発信を意識することができたが講座は実施していない。

GGA自己点検・評価シートVer.1.0

承認者	確認者	確認者	評価者
			